

(様式1)

学校番号 (小 015)

令和7年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立 (富塚小) 学校運営協議会長

<本年度の目標>

- ・情報発信方法について
- ・支援活動の継続推進について

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

- ・基本方針の説明は分かりやすく、意見に対しても取り組み方や対策を知ることができた。そのため熟議が深まった。
- ・学校教育目標や校訓に基づき実施されている教育活動から生じる課題について、学校と委員の間で情報を共有しあうことができた。

<評価項目2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

- ・学校側から実例や写真、グラフなどを用いて情報の提示があった上で話し合いが進んでおり、より具体的かつ適切な議論がなされていた。
- ・学校支援活動について、様々な立場の委員から多角的な意見が出たことで充実した熟議となった。

<評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

⇒ ア 充分に行った イ 行った ウ あまり行わなかった エ 行わなかった
(理由)

- ・それぞれの委員の立場から、地域住民や各団体に対し、発信を行うことはできた。しかし十分といえるほどではなかった。
- ・コミスクだよりを作成しているが、コミスクだよりでは熟議については報告していない。来年度はその点を改善したい。

<評価項目4> 今年度の評価を踏まえた来年度の目標

「コミュニティスクール」への理解が深まるような情報発信方法について
熟議内容を周知するための情報発信方法について